

健康増進活動を進める大分市生活習慣病
対策推進協議会委員長

柴田 洋孝さん (55)



大分市は人口に占める透析者数の割合が全国的に上位。要因の一つに慢性腎臓病（CKD）がある。CKDの原因となる高血圧や糖尿病などの生活習慣病予防を目的に昨年7月、協議会を設立した。他職種連携の在り方や、かかりつけ医と専門医の間の紹介システム見直しを進めている。

「患者の症状に応じて適切な治療へ移行すれば進行は抑えられる。減塩や生活習慣の改善など住

早期発見、日常管理が大切

民への予防知識の普及啓発にも努めたい」と力を込める。

生活習慣病の治療は早期発見が重要で、患者自身の日常管理も大切。複数の疾患を持つ患者も多く、ワンストップで効率良く診察ができるセンターの必要性を感じている。「放置すると生活に支障を来し、命に関わることもある。センタ―化で継続的な治療支援がしやすくなる」と構想が膨らむ。

愛知県出身。2013年に慶応大学医学部から大分大学医学部に移り、内分泌代謝・膠原病・腎臓内科教授に就任。臨床・教育・研究と多忙な日々。高血圧と生活習慣病の関連などが専門で、4月に改訂された高血圧治療ガイドラインでは執筆者を務めた。

大分での生活も6年目を迎え、特に食材の豊富さに舌を巻く。趣味はランニングで、日頃はジムのマシンで汗を流し、年に1度は10キロマラソンにも挑戦する。大分市内で妻と暮らす。（小田原大周）